

シャキッと歯ごたえおいしいキャベツをつくりましょう!

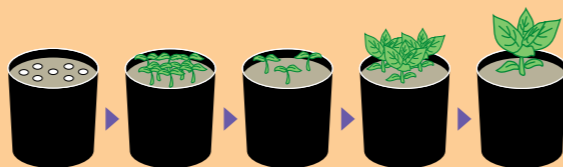


ここがポイント!

- ◎アブラナ科の連作は避ける
(ブロッコリー、白菜、大根、小松菜)
- ◎ヨトウムシ、アオムシ、コナガヤ
アブラムシなどの病害虫が
つきやすいので注意

つくった人だけが
わかる喜びがある!

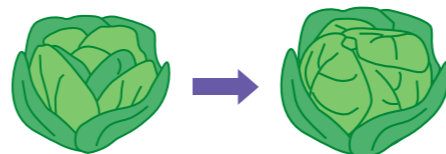
1. 苗づくり。



- ・種から作る方は、ポットに土を入れ種を5~7粒まく。
- ・芽がでたら3本に間引きします。
- ・本葉2枚位で2~3本位に減らします。
- ・本葉3~4枚で1本の苗にし、5~6枚で植付けの
適期となります。

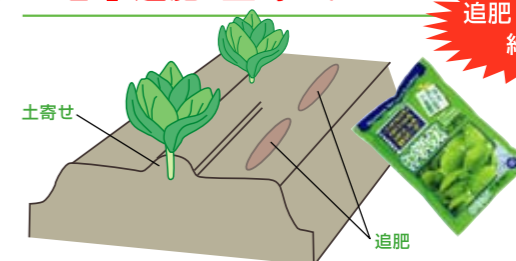
5. 収穫。

植付けて約90日位で結球が大きくなり手で
押さえてガッシリしていたら収穫ができます。
葉を多めにつけて根元から包丁等で切り取る。
残った葉は病害虫のもととなるので切り取る。
秋キャベツは慌てて収穫する必要はなく、少し
寒さに当ててあげると甘みが増します。



植付け5週目位から結球し始めます。
生育が遅いようなら追肥をします。

4. 追肥・土寄せ。



追肥1株あたり
約10g

植付けから15日目頃に、軽く1握り約10gを
根に当たらない株間に施し土を寄せてあげます。
(土寄せは株が倒れないように真直ぐに支える)
2回目の追肥は1回目から30日後位に、畝の
肩の部分に施し土をかけます。

2. 土づくり。

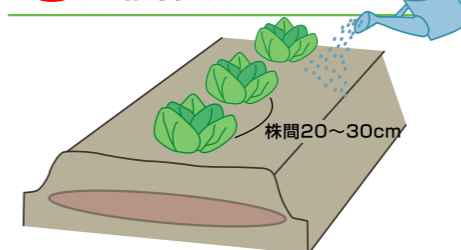
キャベツの根は酸素の要求度が高く、土壌の
通気性を高める必要があります。土を団粒構
造化(フカフカ)にするために植付け7~14日前
にたい肥3kg/m²、苦土石灰100~120g/m²
をまいて良くかき混ぜましょう。表土から
約20~30cmの所に「キャベツ・レタスの肥料」
を元肥として施す。

元肥1株あたり
約25g

※「キャベツ・レタスの肥料」は有機分が
高い、安心・安全な肥料です。

1.5kgで通常の堆肥の
15kg分の効果がある
「固形濃縮堆肥」がおすすめ。

3. 植付け。



幅約30cm程度、高さ20cmで畝を作り、
株間20~30cm位の間隔で植付けします。
植付け後はたっぷり水をかけましょう。
(キャベツの重量の90%以上が水分で、キャベツの
良い生育には土壌水分の供給は重要な条件です。)

朝日工業株式会社
<http://www.asahi-kg.co.jp>

